

白馬三山（白馬岳・杓子岳・白馬鑓ヶ岳）

2015年7月25日(土)～26(日)

メンバー：磯部N(リーダー)、手塚、神谷

テント泊を経験したいという神谷さんのリクエストで、人気の高い白馬岳へ出かけた。梅雨明け後初めての週末なので、混雑は予想していたが、それにしても・・・であった。前日まで天候悪く、大雪渓は立ち入り禁止になっていたがそれも解除されて、まずまずの天候のもと、計画通り歩くことが出来た。

7月25日（土）：曇り時々晴れ

猿倉の駐車場着はAM:1:00。この時点ではまだ7割ほどの台数であったが、以後次第に増えてきてAM5:00にはほぼ満車。



猿倉の駐車場・40台ほど駐められる

歩き出しの猿倉荘前は登山者がいっぱい。登山案内所で計画書のチェックを受けて、山荘横の登山道

を進む。



賑わう猿倉荘の前

1 時間ほどは林道歩きとなだらかな登りで、足慣らしにいい感じで白馬尻につく。
ここからアイゼンをつけて雪渓歩きが 2 時間以上続く。落石のあとが多く、途中で、ゆっくり休んではいられない。



雪溪に続く人の列



雪渓途中の葱平（ねぶかつぴら）を歩く仲間



再び雪溪のトバース。小屋の人がスコップで道の整備をしてくれる。お礼をいいつつ、通過。

雪溪が終わるとテント場まで、岩まじりの登山道を、花を見ながら歩く。
真っ青な空と白い雪と雄大な山容と、これぞ夏のアルプスだ！



小屋の直下。振り返れば杓子岳の雄姿が・・・

テント場で受付を済ませ、小休止してから白馬岳山頂へ。
残念ながら午後から稜線上はガスがかかってなかなか、展望が効かない。風も強くなってきた。



白馬岳山頂



ピンクがかわいい ヨツバシカマ



鮮やかな紫 ミヤマタマキ

テント場は満杯状態。びっしり並んだテントの張り綱がクロスしていて、歩く時にひっかかないように気をつけた。風の通り道に当たるテント場は一晩中強風が吹き続け、激しい揺れと音とであまり眠れなかった。

<タイム>

猿倉荘(5:50)-白馬尻(6:40)-葱平(9:40)-頂上宿舎テント場(12:05~13:40)-白馬岳(14:30)-テント場

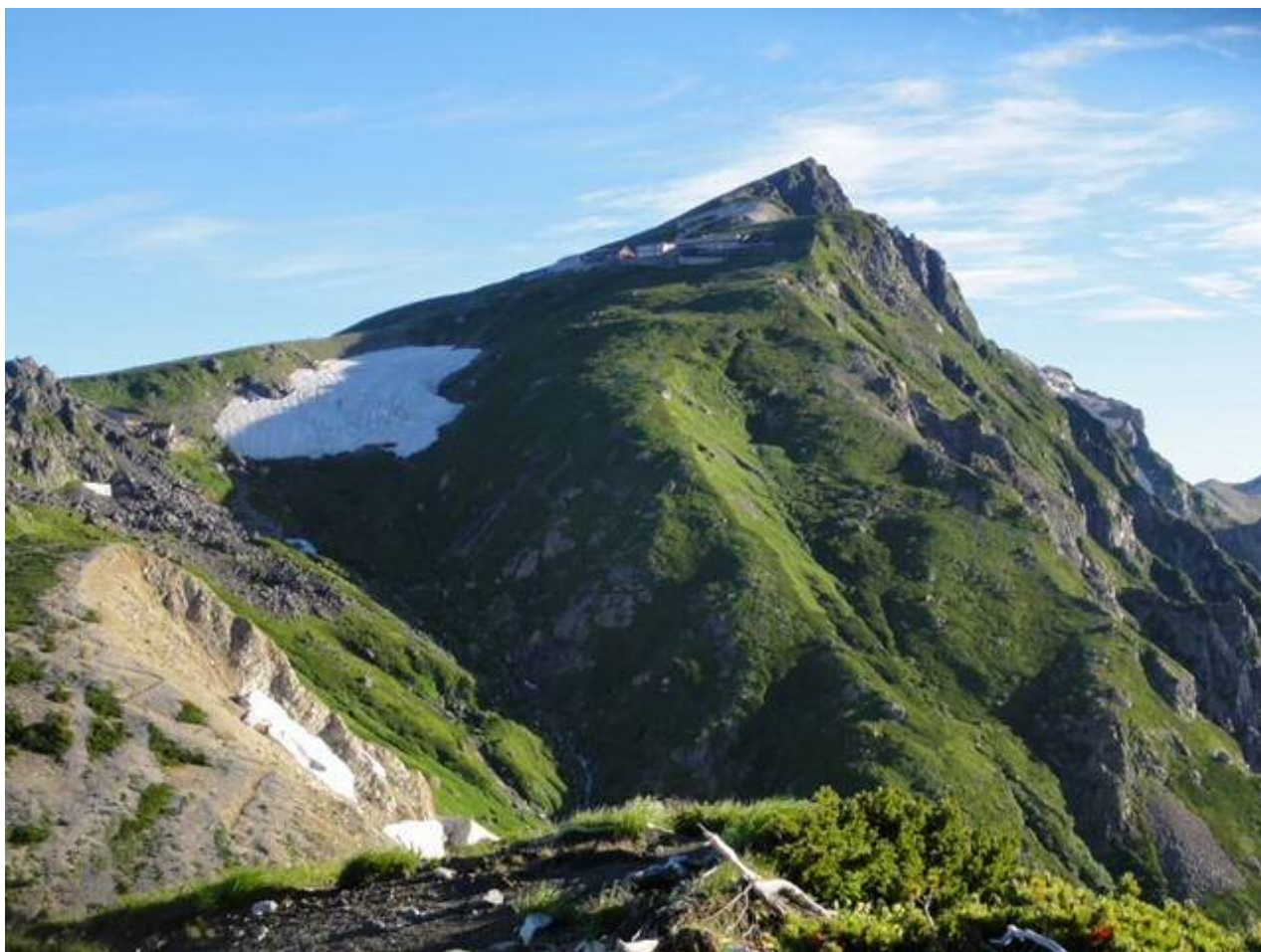
7月26日(日) : 晴れ

風は相変わらず強く、テント撤収にまたまた苦心したがAM5:00出発。朝から、快晴！気持ちの良い稜線歩きが始まる。



稜線直下のテント場をあとにする。

昨日はなかなか、見られなかった白馬岳もきれいに見えた。



白馬山荘と白馬岳



朝の杓子岳

杓子岳、白馬鑓ヶ岳ともに急な登りが続いたが、展望はバツグンだった。



劔岳も見えた！！



白馬鑓ヶ岳



鑓ヶ岳から 天狗岳方面への縦走路



子供の手の平の様な かがたどり



一見地味な 効神ハズル口

下りにかかるとう風が無くなり、俄然暑くなった。木陰がなく、休憩するにも一苦労。
登山道は鑓温泉の少し上部にクサリ場があったが、岩が乾いているし、足場もあるので難なく下りることができた。
鑓温泉はきれいなお湯が見えていたが、指をくわえて通り過ぎるしか無かった。（周囲から丸見え）
温泉からは何度も小さな雪渓を横切る下山道が4時間近く続いた。湿地も何カ所があった。
花は種類も多く、夏の花と春の花が混在している様だった。



白くて優雅な サカサキ



ようやく下山口へ出る 長かったー！

<タイム>

テント場(5:00)-杓子岳(6:40)-白馬鑓ヶ岳(8:05)-下降点(8:35)-登山口(15:13)-猿倉荘
(15:20)

磯部N記